

その時代、日本画は最高にテンパってたと思う。

「絵の前に立った瞬間、全身に鳥肌が立つほどの感動を覚えた。」日本画に魅かれ、生涯をかけて蒐集を続けた水野正幸氏（故、ホクト株式会社創立者）の言葉です。平成14年、長野市に念願の「水野美術館」が誕生しました。展示室には、横山大観を中心とした日本美術院草創期の作家たちや、長野県出身の菱田春草を核として、明治、大正、昭和の三代にわたって活躍した画家たちの意欲作、名作が並びます。また、上村松園らの美人画、杉山寧や加山又造ら現代作家の作品も加わり、現在では500点余に及びコレクションとなっています。本展では、その中から選んだ23作家48点の珠玉作を紹介します。明治以降、西洋化する日本で新たな展開を見出し、華ひらいた「日本画」。現代へと続く美の系譜をご堪能ください。

日本画のこと、
おしえて学芸員さん！

●スペシャルギャラリートーク

「水野コレクションの見どころトーク」
講師：高田紫帆学芸員（水野美術館）
日時：5月20日（土）午後2時～

●作品解説会

毎週土曜日 午後2時～

*いずれも聴講は無料ですが、
展示室入場用の観覧券が必要です。



横山大観「無我」明治30年（1897）

予習1：この姿、どこが新しいの？

「無我」とは仏教の根本思想で「自我に執着せず無心なこと」、その捉えどころのない概念を幼子の姿に託すとは、何て斬新！と、画壇が騒然となった大観の出世作。最初の「無我」（東京国立博物館蔵）を描いた後、幼子の表情に納得がいかず、再々度描きなおした作品です。

予習2：猫は、いつの時代も大人気！

青々とした竹、大輪のユリ、くつろぐ猫、いずれも古くから描かれてきた吉祥画題で、どう描くかが画家の腕の見せどころ。春草は、真ん中に大きく余白をとり、匂い立つような百合と、ふわふわ毛並みの愛しい猫を左右に配して、それぞれの存在を際立たせました。

予習3：美人画って、何がすごいの？

美人画とは、美人を写した絵ではなく、女性の美しさを表現した絵のこと。松園は、同じ女性の視点から見た、新しい時代の女性の美しさを格調高く描きあげました。めざしたのは、「一点の卑俗さもなく、清澄な感じのする香り高い珠玉のような絵」。なるほどです。



上村松園「タベ」(部分) 昭和10年（1935）頃



菱田春草「竹に猫」明治33年（1900）

観覧料

【当日】一般=1,200(1,000)円 大学生=1,000(700)円
【前売】一般のみ=1,000円

*（ ）内は20人以上の団体料金です。*この料金で常設展も観覧できます。*小・中・高校生及びこれらに準ずる方、各種手帳をお持ちの障害者の方は観覧無料です。*前売り券の販売は5月18日（木）までです。
【前売券取扱所】ローソンチケット（Lコード57077）、アーツナビ（富山県民会館、富山県教育文化会館、富山県高岡文化ホール、新川文化ホール）、富山県水墨美術館、富山県美術館（4月1日～）、富山テレビ放送

開館時間 午前9時30分～午後6時（入室は午後5時30分まで）

休館日 月曜日

常設展示 近代水墨画の系譜／下保昭作品室

館内施設 ●茶室「墨光庵」(立礼席・薄茶と菓子500円) ●喫茶「北斗」
●ミュージアムショップ「風花」*展示室以外はフリースペース(入場無料)です。

【交通のご案内】●富山駅南口から[市内電車] 大学前行「富山トヨベツ本社前(五福末広町)」下車、徒歩10分 [ぐるっとBUS] ②乗場から北西周りルート[水墨美術館] 下車すぐ 【地鉄/バス】 ③乗場から小杉・高岡方面行「五福末広町」下車、徒歩10分 / ⑦乗場から四方・呉羽山老人センター・石坂・北代循環行「畑中」下車、徒歩10分 [タクシー] 約10分 ●富山空港から[タクシー] 約25分 ●北陸自動車道富山IC・富山西ICから[自動車] 約20分 ●駐車場:乗用車165台、バス7台 *ご利用は無料です。

次回予告 徳川美術館所蔵 天下人・徳川家康と尾張徳川家の至宝 7月7日(金)～8月20日(日)



富山県水墨美術館

水墨美術館 検索

〒930-0887 富山市五福777番地

TEL:076-431-3719 / FAX:076-431-3720

http://www.pref.toyama.jp/branches/3044/3044.htm